

ほけんだより 10月号

H26, 10, 7
西和佐小学校 保健室

10月のほけんぎょうじ

2日	食後尿糖検査 (5年)
6日	視力検査 (1年)
7日	// (2年)
8日	// (3年)
9日	// (4年)
10日	// (5年)
14日	// (6年)
30日	就学時健診

視力検査のときはめがねを忘れないでね。

10月ほけん目標



視力手帳をまだ提出していない人は、眼科の診察を受けていなくても、保護者印を押して一度保健室まで返してね!!!

運動会おつかれさまでした。疲れはもうとれましたか？晴天のもとできっと良い演技、競技ができたことでしょう。

「たそがれ」とは、夕方のこと。うす暗く、すれちがう人の顔も見分けにくいので「誰そ彼は(あれは誰?)」と言ったのが語源です。

「たそがれ」は、自動車や自転車から歩いている人が見えにくく、交通事故の起こりやすい時間帯です。交通安全を心がけ、事故から身を守りましょう。またケガが多くなる季節です。自分の行動に注意しましょう。

「見る力」を育てよう



少し長めの文章ですが、読んでみてね♪

私たちは、毎日さまざまな人や物に出会います。よく知っているものもあれば、初めて出会うものもあります。初めて出会った人には、「やさしそう」「ちょっとこわそう」など、いろいろな印象を持つでしょう。その印象は何を手がかりに浮かんでくるのでしょうか。それは、「見た目」です。私たちに、五感といって、見る・聞く・かく・さわる・味わう という5つの感覚が備わっています。その五感をもとにいろいろな物と接し、そこから情報を受け取っているのです。



中でも重要なのは、「見る」ことです。もう一度、初めて出会った人を「見た」場面を思い浮かべてください。その人の「見た目」からいろいろな「やさしそう」「こわそう」というのは、その人の表情から受け取る印象です。ニコニコしていれば「やさしそう」だと感じるし、ぎゅっと口を結んで厳しい顔つきをしていれば「こわそう」だと感じるでしょう。

また、身だしなみが整っていると、きちんとした印象を受け取り、服装や髪型が乱れていると、だらしない印象を持ちます。このように、私たちは相手のことを知るために目を通して脳を活用して、その人の表情や身だしなみ、視線や動作などの「見た目」を観察し、情報を集めているのです。

でも、同じとき、同じ人を見て、受ける印象はそれぞれです。「やさしそう」と感じて、ほかの人は「頼りなさそう」とか「気が弱そう」と感じているかもしれません。あなたは「おしゃれだな」と思っても、友達は「変な髪型だな」と思っているかもしれません。その違いはどこから生まれてくるのでしょうか。

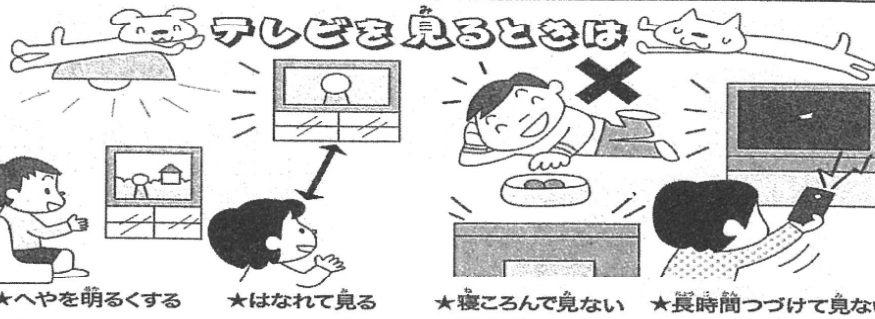
目は、外からの情報を取り入れる「窓」です。その「窓」からどんどん入ってくる情報をまとめて分析し、全体の印象を作っていくのは脳です。同じものを見て、人によって受ける印象が違ってくるのは、目を取り入れた情報を分析するとき、脳の働きによって一人ひとりの経験によって作られる考え方、つまり心が加わるからです。



それは、そのときの環境や体調、あなた自身の気持ちや立場に加え、何よりもこれまでの経験の積み重ねからできあがっているものです。脳は「見えない」部分を見るはたらきをしているともいえます。

第一印象で、「こわそうだな」と感じた人が、話をしてみると、意外とおもしろい人だったり、おちょこちょいだったりして、印象がガラリと変わることがあります。それは、「見た目」の情報に「話をすると」という新たな経験が加わって、相手の違う側面や、外見だけでは「見えない」部分が覚えてきたということなのです。

何かを見るとき、「見た目」が重要な情報源であることは確かですが、同じくらい大切なのが、外からは「見えない」部分を読み取る力です。情報の窓である目を大切にするとともに、いろいろな物事を見たり聞いたり、そして行動したりして、たくさんの経験を積み重ね、たくさん考えて、「見えない」部分を正しく見る力をつけなければなりません。



7つのまちがいさがし

